

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月5日

【四半期会計期間】 第39期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社システムソフト

【英訳名】 SystemSoft Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 吉尾春樹

【本店の所在の場所】 東京都千代田区大手町二丁目6番1号
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)

【電話番号】 該当事項はありません。

【事務連絡者氏名】 該当事項はありません。

【最寄りの連絡場所】 福岡県福岡市中央区天神一丁目12番1号

【電話番号】 092(732)1515(代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部長 富田保徳

【縦覧に供する場所】 株式会社システムソフト 福岡本社
(福岡県福岡市中央区天神一丁目12番1号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
(注) 上記の福岡本社は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第38期 第3四半期 連結累計期間 | 第39期 第3四半期 連結累計期間 | 第38期 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年10月1日 至 2019年6月30日 | 自 2019年10月1日 至 2020年6月30日 | 自 2018年10月1日 至 2019年9月30日 |
| 売上高 (千円) | 1,890,594 | 2,125,117 | 3,000,462 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 124,590 | 192,148 | 85,903 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失() (千円) | 153,930 | 548,968 | 1,724,077 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 158,856 | 554,077 | 1,729,699 |
| 純資産額 (千円) | 6,317,683 | 4,061,975 | 4,746,840 |
| 総資産額 (千円) | 7,064,704 | 4,799,476 | 5,610,666 |
| 1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円) | 2.27 | 8.07 | 25.38 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 89.2 | 84.4 | 84.3 |

| 回次 | 第38期 第3四半期 連結会計期間 | 第39期 第3四半期 連結会計期間 |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 | 自 2020年4月1日 至 2020年6月30日 |
| 1株当たり四半期 純損失金額() (円) | 1.01 | 0.29 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社、子会社5社(株式会社DigiIT、株式会社アライアンステクノロジー、SystemSoft U.S.A., Corporation、株式会社S2i、全管協ポータルサイト株式会社)及びその他の関係会社2社(APAMAN株式会社及びApaman Network株式会社)で構成されております。

当社はシステムソリューション事業及びマーケティング事業を、子会社株式会社DigiITはマーケティング事業を、株式会社アライアンステクノロジーは投資事業を、SystemSoft U.S.A., Corporationは投資、不動産事業を、株式会社S2iはIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、全管協ポータルサイト株式会社はネットワークを利用した不動産情報提供及びコンサルティング事業を、主な事業内容としております。その他の関係会社 APAMAN株式会社は、事業セグメントとして「Sharing economy」、「Platform」、「Cloud technology」を展開し、グループ会社の経営管理を行っております。また、その他の関係会社 Apaman Network株式会社は、APAMAN株式会社の子会社であり、フランチャイズ事業を主な事業内容としております。

当社が営む2事業は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に掲げるセグメントの区分と同一であります。

なお、当社グループを構成している残りの1社(持分法非適用関連会社1社)につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(1) 各社の事業内容

当社

システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。

マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。また、RPAソリューションの提供を開始しております。

その他事業

子会社株式会社アライアンステクノロジーは当社の事業分野に関連した投資事業を、株式会社S2iはIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、それぞれ行っております。

APAMAN株式会社

株式保有によるグループ会社の経営管理

Apaman Network株式会社

フランチャイズ事業

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、「2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (1) 業績の状況」をご覧ください。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（2019年10月1日～2020年6月30日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費が持ち直すなど緩やかな回復が続きました。一方、各国の政策動向や貿易摩擦の激化、中国経済の減速等海外環境の悪化が懸念され、さらに新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響を受け足元で急速に減速しており、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、IT需要の高まりにより、顧客のソフトウェア関連設備投資は堅調に推移し、プロジェクトマネージャー等の高度な人材をはじめとしたIT技術者全般の需要は依然として高く、慢性的な人材不足の状態が続いております。

このような環境の下、当社グループは、子会社 株式会社DigiIT(デジット) 主導によるRPAソリューションやWEBコンサルティング、不動産Techといったデジタルトランスフォーメーション（DX、X DIGITAL）領域へと一層注力してまいりました。また、積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成に取り組みながら、常駐型（SES：お客様先に常駐して業務を請け負うシステムエンジニアリングサービス）の新規案件獲得と、システム開発分野全般のサービス価値向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して234百万円（12.4%）増加し2,125百万円、営業損失は192百万円（前年同期は営業損失99百万円）となりました。また、経常損失は192百万円（前年同期は経常損失124百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は548百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失153百万円）となりました。

なお、当社におきましては、上述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大による影響が不透明であることと、第2四半期連結会計期間において、子会社が保有する株式の一部について減損損失、特別損失を計上しております。当社の事業活動に影響を及ぼす可能性があります。現段階では不透明かつ不確定要素が多いことから今後の推移状況を注視してまいります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、不動産分野において見込通り受注し、売上は好調に推移いたしました。また、原価の根本的な見直しと圧縮により、利益面を大幅に改善することができました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前年同期に比して295百万円（20.0%）増加し1,772百万円、セグメント利益は前年同期に比して66百万円（280.4%）増加し90百万円となりました。

マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供、RPAソリューションの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、Webマーケティング領域のコンサルティングは案件規模縮小等により売上・利益ともに低下いたしました。システム開発から派生する新規案件の獲得活動を引き続き行っておりま

す。また、RPAソリューションについては既存顧客の深耕拡大を行っております。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前年同期に比して113百万円（26.3%）減少し318百万円、セグメント損失は25百万円（前年同期はセグメント損失49百万円）となりました。

その他事業

子会社 株式会社 S 2 i はIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、株式会社アライアンステクノロジーは当社の事業分野に関連した投資事業を、それぞれ行っております。

これらにより、その他事業の売上高は84百万円（前年同期は売上高1百万円）、セグメント損失は125百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ409百万円減少し、3,016百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少312百万円、営業投資有価証券の減少197百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ402百万円減少し、1,783百万円となりました。これは主に、償却によるのれんの減少37百万円、投資有価証券の減少347百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ811百万円減少し、4,799百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、364百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少27百万円、未払法人税等の減少76百万円等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、373百万円となりました。これは主に、社債の減少40百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、737百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ684百万円減少し、4,061百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び資本剰余金を原資とした配当の実施による資本剰余金の減少等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 90,000,000 |
| 計 | 90,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (2020年8月5日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|--------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 68,040,560 | 68,040,560 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 68,040,560 | 68,040,560 | | |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2020年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2020年4月1日～ 2020年6月30日 | | 68,040 | | 1,511,404 | | 221,811 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 31,700 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 67,998,300 | 679,983 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 10,560 | | |
| 発行済株式総数 | 68,040,560 | | |
| 総株主の議決権 | | 679,983 | |

- (注) 1 1単元の株式数は100株であります。
2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,700株(議決権57個)含まれております。
3 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式19株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社システムソフト | 東京都千代田区大手町 二丁目6番1号 | 31,700 | | 31,700 | 0.04 |
| 計 | | 31,700 | | 31,700 | 0.04 |

(注) 当第3四半期会計期間末における所有自己株式数は、31,771株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,831,696 | 1,519,541 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,075,444 | 1,104,935 |
| 営業投資有価証券 | 411,342 | 214,134 |
| 仕掛品 | 30,574 | 58,128 |
| その他 | 76,240 | 119,515 |
| 流動資産合計 | 3,425,297 | 3,016,255 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 16,151 | 22,728 |
| その他(純額) | 16,913 | 22,890 |
| 有形固定資産合計 | 33,065 | 45,619 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 664,117 | 626,525 |
| その他 | 355,162 | 340,504 |
| 無形固定資産合計 | 1,019,280 | 967,030 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,133,023 | 770,572 |
| 投資その他の資産合計 | 1,133,023 | 770,572 |
| 固定資産合計 | 2,185,369 | 1,783,221 |
| 資産合計 | 5,610,666 | 4,799,476 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 181,426 | 153,652 |
| 未払法人税等 | 95,875 | 19,433 |
| 株主優待引当金 | 28,820 | - |
| その他 | 136,409 | 191,353 |
| 流動負債合計 | 442,531 | 364,438 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 280,000 | 240,000 |
| 資産除去債務 | 4,374 | 4,400 |
| その他 | 136,919 | 128,661 |
| 固定負債合計 | 421,294 | 373,062 |
| 負債合計 | 863,825 | 737,501 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,506,090 | 1,511,404 |
| 資本剰余金 | 4,262,292 | 3,151,487 |
| 利益剰余金 | 1,028,391 | 597,126 |
| 自己株式 | 8,046 | 8,050 |
| 株主資本合計 | 4,731,944 | 4,057,714 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,226 | 9,137 |
| 為替換算調整勘定 | 96 | 95 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,322 | 9,232 |
| 新株予約権 | 10,792 | 5,265 |
| 非支配株主持分 | 8,426 | 8,228 |
| 純資産合計 | 4,746,840 | 4,061,975 |
| 負債純資産合計 | 5,610,666 | 4,799,476 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 1,890,594 | 2,125,117 |
| 売上原価 | 1,539,082 | 1,873,572 |
| 売上総利益 | 351,511 | 251,545 |
| 販売費及び一般管理費 | 451,085 | 444,165 |
| 営業損失() | 99,573 | 192,620 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 190 | 1,179 |
| 受取配当金 | 434 | 494 |
| 助成金収入 | 1,026 | 1,879 |
| 消費税差額 | 20,724 | 491 |
| 株主優待引当金戻入額 | - | 20,223 |
| その他 | 350 | 124 |
| 営業外収益合計 | 22,726 | 24,392 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 681 | 603 |
| 支払手数料 | 14,590 | 18,795 |
| 為替差損 | 15,110 | 596 |
| 株主優待関連費用 | 14,077 | 1,073 |
| その他 | 3,283 | 2,851 |
| 営業外費用合計 | 47,743 | 23,920 |
| 経常損失() | 124,590 | 192,148 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | - | 4,542 |
| 特別利益合計 | - | 4,542 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 339,339 |
| 特別損失合計 | - | 339,339 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 124,590 | 526,945 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26,523 | 22,221 |
| 法人税等調整額 | 2,983 | - |
| 法人税等合計 | 29,507 | 22,221 |
| 四半期純損失() | 154,097 | 549,167 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失() | 166 | 198 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() | 153,930 | 548,968 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失() | 154,097 | 549,167 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,516 | 4,910 |
| 為替換算調整勘定 | 242 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 4,759 | 4,909 |
| 四半期包括利益 | 158,856 | 554,077 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 158,689 | 553,878 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 166 | 198 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 123,258千円 | 119,376千円 |
| のれんの償却額 | 127,287千円 | 37,591千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年11月22日 取締役会 | 普通株式 | 135,885 | 2 | 2018年9月30日 | 2018年11月30日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2019年11月22日 取締役会 | 普通株式 | 135,885 | 2 | 2019年9月30日 | 2019年12月16日 | 資本剰余金 |

2. 株主資本の著しい変動

第1四半期連結累計期間において、2019年12月13日開催の取締役会の決議により、会社法第452条、第459条第1項第3号及び当社定款第38条の規定に基づき、その他資本剰余金980,233千円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えを行っております。また、2019年12月16日を効力発生日として、資本剰余金を原資とした配当を実施したことに伴い、資本剰余金が135,885千円減少しております。さらに、新株予約権行使により、資本金が5,314千円、資本準備金が5,314千円増加しております。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,511,404千円、資本剰余金が3,151,487千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------------------|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システム ソリューション 事業 | マーケティング 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,477,048 | 412,258 | 1,889,307 | 1,286 | 1,890,594 | | 1,890,594 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | | 19,208 | 19,208 | | 19,208 | 19,208 | |
| 計 | 1,477,048 | 431,466 | 1,908,515 | 1,286 | 1,909,802 | 19,208 | 1,890,594 |
| セグメント利益又は 損失() | 23,889 | 49,941 | 26,051 | 2,612 | 28,664 | 70,909 | 99,573 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 70,909千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------------------|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システム ソリューション 事業 | マーケティング 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,722,822 | 317,378 | 2,040,201 | 84,916 | 2,125,117 | | 2,125,117 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 50,117 | 756 | 50,873 | | 50,873 | 50,873 | |
| 計 | 1,772,940 | 318,134 | 2,091,074 | 84,916 | 2,175,990 | 50,873 | 2,125,117 |
| セグメント利益又は 損失() | 90,880 | 25,908 | 64,971 | 125,745 | 60,774 | 131,845 | 192,620 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 131,845千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日) |
|---|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 2円27銭 | 8円07銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 153,930 | 548,968 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円) | 153,930 | 548,968 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 67,942,841 | 67,990,043 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

(無担保社債の発行)

当社は、2020年7月29日に第2回無担保社債を発行いたしました。その概要は次のとおりであります。

なお、この発行は、募集総額等を定めた2020年7月17日開催の取締役会の決議に基づくものであります。

- (1) 銘柄 第2回無担保社債
- (2) 発行総額 300百万円
- (3) 利率 年0.45%
- (4) 発行日 2020年7月29日
- (5) 償還期日 2025年7月29日
- (6) 償還方法 初回を2021年1月として、半年毎30百万円の均等定時償還
- (7) 用途 運転資金

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月5日

株式会社システムソフト
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 尻 慶 太

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 島 津 慎 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社システムソフトの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社システムソフト及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。